

履修コード/科目名称	022811 / 国語科教育法 I		
開講年度・期	2019年 通年	開講曜日・時限	月曜日 3時限
単位数	4		
付記			
主担当教員氏名(カナ)	須藤 敬 (スドウ タカシ)		
副担当教員氏名(カナ)			

授業概要	<p>高校国語科における教育、及び、学習過程のイメージを学習指導要領に基づき理解し、それらを授業において実践する力を身につけるため、教育現場で用いられている様々な教材に即しつつ授業を行う。またこれまで提案、実践されてきた多種多様な授業方法、指導理論を講義・紹介する。併せて、教材研究の方法についても取り上げる。そして受講学生が具体的な授業場面を想定した授業指導案を作成し、模擬授業実技を行い、自身での評価、及び、学生間の相互評価等の振り返りを行う。</p> <p>特に、平成33年度からの中学校新学習指導要領の全面実施に対応できる力を身に付けることに留意した授業を行う。</p> <p>国語教育法に完成型はない。常によりよい授業とはどういうものかを模索し続ける姿勢が受講学生には求められる。授業態度が受身ににならないことを望む。</p>		
到達目標(ねらい)	<p>国語という教科が担う役割を、高等学校の授業内容を通して理解・認識することを本授業のテーマとする。</p> <p>そして、教育実習を見据え、授業指導案を作成し、授業を行える力を身につけることを到達目標とする。</p>		
授業スケジュール	第1回	国語科教育とは(1) 現行学習指導要領理解する	
	第2回	国語科教育とは(2) 新学習指導要領の改訂の方向性を理解する	
	第3回	各科目の理解と具体的な教材(1) 国語総合	
	第4回	各科目の理解と具体的な教材(2) 現代文A・B	
	第5回	各科目の理解と具体的な教材(3) 古典A・B	
	第6回	各科目の理解と具体的な教材(4) 国語表現	
	第7回	学習活動の実際と具体的な指導理論(1) 話すこと・聞くこと	
	第8回	学習活動の実際と具体的な指導理論(2) 書くこと	
	第9回	学習活動の実際と具体的な指導理論(3) 読むこと	
	第10回	学習活動の実際と具体的な指導理論(4) 伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項	
	第11回	評価についての考え方の変遷と、それらに対する理解	
	第12回	指導計画・授業指導案の作成(1) 教材選定・学習目標・教材観・生徒観等	
	第13回	指導計画・授業指導案の作成(2) 授業計画・授業展開・板書等	
	第14回	指導計画・授業指導案の作成(3) 主体的・対話的学びと評価方法との関連	
	第15回	読書指導、及びITの活用法	
	第16回	現代文の教材研究と授業指導案作成(1) 説明文・記録文	
	第17回	現代文の教材研究と授業指導案作成(2) 小説・随筆	
	第18回	現代文の教材研究と授業指導案作成(3) 韻文	
	第19回	現代文の模擬授業(1) 評論	
	第20回	現代文の模擬授業(2) 小説	
	第21回	古典の教材研究と授業指導案作成(1) 古文—国語総合—	
	第22回	古典の教材研究と授業指導案作成(2) 古文—古典A・B—	

	第 23 回	古典の教材研究と授業指導案作成（3）漢文—国語総合—
	第 24 回	古典の教材研究と授業指導案作成（4）漢文—古典A・B
	第 25 回	古典の模擬授業（1）古文
	第 26 回	古典の模擬授業（2）漢文
	第 27 回	国語表現の教材研究と授業指導案作成
	第 28 回	国語表現の模擬授業
	第 29 回	アクティブ・ラーニング、及び、コミュニケーション力育成について
	第 30 回	言語文化と異文化理解、及び、他教科との連携について
準備学習	<p>国語教科書に収録されている教材、即ち、日本文学、及び、漢文学、さらには日本語に関わる学内のほかの授業を全力で受講しておくこと。 また日ごろから、教育に関わるニュースをチェックしておくこと。 授業テーマに応じた具体的な学習方法については、授業ごとに指示する。質問も随時、受け付ける。</p>	
履修上の留意点等	<p>日本文学史全般に関わる知識、各時代の文芸思潮、文芸理念、また古典文法など、高等学校で学習した内容について復習しておくこと。 なお、本授業は教育実習校に、教育実習に行くことを前提とした授業である。教育実習生にふさわしい授業マナーをわきまえること。</p>	
成績評価の方法	20 %	試験
	20 %	レポート
	10 %	小テスト
	10 %	平常点
	40 %	授業指導案作成、及び模擬授業の内容
教科書/テキスト	<ul style="list-style-type: none"> ・高等学校学習指導要領（平成30年3月告知 文部科学省） ・評価規準の作成，評価方法等の工夫改善のための参考資料 高等学校 国語（平成24年7月 国立教育政策研究所教育課程研究センター） <p>また以下の中学校の国語科指導要領関係の書籍も参考にする。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・中学校学習指導要領（平成29年3月告知 文部科学省） ・中学校学習指導要領解説 国語編（平成29年6月 文部科学省） ・中学校学習指導要領（平成20年3月 文部科学省） ・中学校学習指導要領解説 国語編（平成20年7月 文部科学省） ⇒文部科学省『中学校学習指導要領解説 国語編』（東洋館出版社 265円 978-4491033037） ・中学校学習指導要領比較対象表（平成29年3月公示 文部科学省） <p>評価基準の作成、評価方法等の工夫改善のための参考資料 中学校国語（平成23年11月 国立教育政策研究所教育課程研究センター）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・幼稚園、小学校、中学校、高等学校及び特別支援学校の学習指導要領等の改善及び必要な方策等について（平成28年12月21日答申 中央教育審議会） <p>以上のほか、毎授業、プリントを配布する。</p>	
参考書 ▶ 図書館蔵書検索	<p>町田守弘編 『実践国語科教育法』 学文社 2100円 978-4-7620-2306-4 C3037 そのほかの参考書については、授業ごとに示す。</p>	
学生による授業アンケート結果等による授業内容・方法の改善について	<p>平成31年度より本授業を担当する。授業についての授業学生の感想、意見は随時、受け付ける。</p>	
関連リンク		
実務経験がある教員による授		

